

# 郷の集い

## 教育雑感

学校長 齋藤義宣

発行 新郷小学校PTA  
編集 黒田久野  
責任者 紀野印  
印刷 光刷

## 卒業を迎えるにあたり

PTA会長 新郷法夫

梅のつぼみもふくらみはじめ空の気配にも春が感じられる日、新郷小学校卒業を迎えるご父兄のみなさん、おめでとうございます。

長い間、当校PTAに對しまして、ご支援とご協力をいただき本当にありがとうございます。

これまでみなさんは、「父母と教職員の緊密な協力により子供達の健康な成長をはかる」「会員の教養を高め、親睦をはかる」「地域環境をよくするための改善と充実につとめる」ことを目的とし、学級、補導、保健体育等の委員として又、長として当校PTAの発展と繁栄の為、ご活躍いただきました。

この間のご苦勞に對しまして、重ねてお礼申し上げます。

さて、卒業を迎えるにあたり振り返りみますれば、まだようやく一人歩きのできるようになったばかりの六年前の子供の姿に比べ、

昨今、一人前の学生として、分別ある顔をして、わが子の姿をみた時、六年間の先生方のご指導のたまものと感謝の念で一ぱいでございます。

頑是無い子供を、一人前の人格の所有者とみとめて、かけになり日向になっての

ご教導は、まったく口には言いつくせないほど大変なことであつたと思われ、六年間の先生方の教えは、消えることなく、深い根となつて、子供達の胸にいつまでも残り、生き続けてくれることでしょう。ほんとうに六年間ありがとうございました。

ところで、会員の皆様方の温かいご支援とご協力によりまして、二年間、大過なく当校PTA会長の任を過ごさせていただきました事に對しまして、衷心より厚くお礼申し上げます。

## 昭和五八年度新郷校PTA事業報告(抜)

- 四月六日 PTA 歓送迎会
- " 二〇日 両親学級
- 五月二日 学級委員会
- " 二五日 企画委員会
- 六月一八日 両親学級 (講演)
- 七月一〇日 PTA 研修旅行 (蒲郡)
- " 一八日 保護者会
- 八月二日 PTA 奉仕作業
- " 三〇日 庶務、保体委員会
- 九月一〇日 役員運動会準備
- " 一五日 PTA 運動会参加 (バザー)
- 一〇月一九日 両親学級 (問題行動について)
- " 二六日 学級委員会
- 十一月二八日 祖父母学級
- 十二月二日 第二回廃品回収
- 一月二八日 保護者会 庶務委員会 (役員選考)
- 二月六日 両親学級
- " 一九日 期成同盟委員会
- 三月六日 PTA 役員会 PTA 総会

「園長先生、おはようございます。」と可愛い声や手をあげて、まつわりついてくる園児達、中学校教育の長かつた私にとって、最初は何となくとましく感ぜられたが、一月二月たつうちに、あどけない笑顔につられて遊ぶようになってきた。純真無垢、どの子の目もきれいだ。輝いている。

いつまでもいつまでも、真珠のように、輝いていてほしいと心から祈っています。●祖父母学級、両親学級を開いた。行儀よく集まってこられる。いつも次の三つのことを、お願いした。一つは「おかげさまで」と云う感謝の気持ちを育てて下さいと、二つには「もったいない」ものを大切にすること、三つには神仏に手を合せる模範を示して下さいとお願いした。

●今日も新校舎の方からエンジン音の響きや、槌の音が聞こえています。春以来毎日でした。あわただしい一年でした。でも園児や児童達に幸いけがなく無事故で完成ができています。●新校舎に入ってみると、明るい感じの教室、準備室や、あらゆる設備が整った放送室、図工室、音楽室、理科室、家庭科室等の特別教室、そしてあらゆる行事に使用可能なランチルーム、その他保健室、図書室、便所等もカラフルな色の配置で立派なものです。よくこれ程の校舎を町当局が建ててくれたものだと思います。

●こんなすばらしい校舎が何故早く建ったか、波松小に、よりもおくれると思つたのだ。それは建設期同盟委員会を中心とした、この郷の老若男女が心を一つにして、団結したおかげだと思つています。先祖伝来の土地を手放すのですから本当に身をけずられる思いがしたでしょう。でもみんなの協力のおかげで、すばらしい新郷校が出来上がりつつあります。長年月に亘つて苦勞された議員さん、歴代区長さん、建設委員長さんその他関係された人々に心から祝辞をおくりたいと思つています。

●みんなの善意で二重門の校門、校歌碑、陰徳の松の碑、桜の苗木等が集まっています。今後ともよろしくおねがいします。●こんなに協力的な地区の人々がつくりあげた、すばらしい校舎で、四月から園児や児童と共に学ぶのです。が、心身のひきしまる思いがします。郷の人々の教育に對する熱意にこたえ、町当局の数限りなく示されたご厚意にそつた、心の豊かな、心の温かい児童を育ててみたいものです。



# 希望に胸をふくらませ もうすぐ中学生!!



五十嵐康浩

ぼくが、この学校に転校してきたのは、四年生の時。初めは、この学校の規則がわからなくて、注意されたこともしばしばあった。だが一年、二年と通っているうちに、規則もわかり学校の校舎にも親しみを感じてきた。しかし、校舎がこわされることになったとき、ぼくは、さびしい気持ちになった。

### 五十嵐満里子

小学校を三度転校させて子供には可愛いような事をしたと思っています。この六年間に重複した時期も含めて五人の先生にお世話になりました。まるつきりヤル気のない事なかれ主義の教師、かと思えば私の授業は毎時間全力投球ですからご都合の良い時いつでも参観にいらして結構ですとさわやかに言いきった新任の若い女の先生……。それぞれの教師の姿勢がそのままクラスの結びつきに写し出されている事にいまさらながら驚いています。色々な出来事があり、思い出はつきませんが無事卒業を迎え諸先生に御礼申し上げます。



黒田 紀子

小学校六年生ももうすぐ終わり、そしてこの旧校舎ともお別れです。大きな松の木の下でブランコ、みんな写真撮ったジャンブルジム、教室のすみで見付けたひみつ穴、みんなみんなお別れです。

### 黒田 雪子

六年間、いつもだまって私達を見守ってくれた学校。本当にありがたいとございませう。そして、さようなら。春の足音とともに念願の新校舎もほぼ完成した今、旧校舎での思い出は一層高まるばかりです。旧校舎での最後の卒業式を迎える次女もこの校舎とともに数々の思い出を築いてきたでしょう。泣いて笑って……たまには、取っ組み合いになるほどのけんかもしたことでしょう。この校舎は何十年の間、こんな子供達を見守ってきたのです。



小木 勝夫

六年間で一番に残ったことは陸上や水泳に出たこと、修学旅行や運動会で応えん団長として活躍したこと、先生にいつも字がきたないと言われて何度も何度も書き直しをさせられたことなどです。

### 小木 禮子

光陰矢の如しとか、月日の立つのは早いものです。まだまだと思っていた子供達の卒業もあと一カ月足らずとなりました。黄色帽子に大きなカバンを背負ってうれしそうに学校の門をくぐったのもほんのこの間のように思われます。この六年間雨の日も風の日も楽しい時もいやな時もあったでしょうが、今は、子供は学び舎に思い出を残して巣立って行くのです。そして親子共々楽しかった運動会、又子供達にとっても忘れることの出来ない修学旅行、勉強に子供会活動、鼓笛隊にと小人数ながらも皆んなよくがんばりました。これも一重に諸先生方のお陰と感謝しております。どうも長い間ありがとうございました。



斉藤 一美

新しい学校へ入れそうにもないのが、ちょっとさびしいような気がする。少しだけでもいいから新しい学校で勉強して大きなグラウンドで力いっぱい走ってみたい。でももう無理だ。卒業だから。中学校へ行ってしまおうと思うと、さみしいような気がするけど新しい友達をつくってがんばりたい。

### 斉藤 麗子

例年になく大雪に見舞われた今年も、ようやく、畑に黒いものが見え始め、春の気配を感じさせてくれます。私達の念願でありました新校舎建設も進み、白い姿を見る事が出来る様になりました。早いもので、長女も新郷小学校に御世話になってから六年が過ぎ、卒業を迎える事になりました。振り返ってみますと、いろいろな事に出会い、頭の痛い思いも致しましたが、何とか無事卒業出来ます事は、ひとえに諸先生方の御指導の賜物と感謝致しております。どうも有り難うございました。



斉藤 陽

ぼくは、この六年間新郷小学校で学んでたいへんよかったです。それは児童数の多い学校では出来ないことがいろいろ出来たからです。わからないところやできないところは先生が一つ一つ教えてくれたり全校生徒と友達にもなれました。とても楽しかったです。

### 斉藤 修二

我が家の長男が入学したのが昭和五十年、その後二人の子供がお世話になり、今ようやく小学校の課程を終える。この九年間、PTAの一人としていささかの関心を持って私なりに学校行事に参加した。出席して驚くことは父親の如何に少ないことか。様々の揺れ動く教育に対する批判の中で我が子はどのような学校生活をしているのかもよく見る必要がある。学校のことは先生任せ、母親任せでは余りにも身勝手というものだ。無関心を装うのは止めにして変身してみようではないか。新郷小も生まれ変わろうとしているのだから。





新郷 真嗣



杉本 香織



高戸 昇栄



高政 かおり



竜田 佳幸



中田美佐江

もうすぐ卒業。六年間が短く感じられます。いつもちゃらんぼらんしていかれたこともなつかしく感じます。今までは勉強もきつくなかったけど中学になったら何もかもきつくなると思います。これからはもっと身を締めつけていきたいと思っています。

中学生になっても先生方の言葉を忘れずがんばりたいと思っています。

新郷美枝子

最近大きくなったなあとおくづく子供の顔や体をながめる。時々子供の背中に乗って「小さい時は母さんがおんぶしたんやで年をとったらまさちゃんがおんぶしてや」と言う。でもテレビか返事は何も無い。優しい心と正しい善悪のけじめはいつまでも持っていてほしい。

人生スタート点からまだ十三センチ程しか来ていない。つらい事はこれから。六年間諸先生方から教えて頂いた事と友達との楽しかった事をかてに一つ一つ乗ってきて行って下さい。心暖まる御指導下さいました諸先生方に親子共に感謝申し上げます。

もうあと三週間あまりで、卒業です。夏休みは水泳の練習でたくさんになるまでお泳ぎしました。その練習のかいあって、ぼくは、五年生のときよりはうまくなり、選手になることができました。だけど、鼓笛の時間はトランペットがうまくひけずしかられてばかりいました。

これらの思い出をいつまでも大切にしていきたいと思っています。

杉本富美子

入学式で子供と一緒に校門をくぐったのが、ついでこの間の様に思えますが、早六年が過ぎてしまいました。この間、校長先生始め諸先生方の御指導のもとに今日の卒業を迎えられますことを、本当にうれしく感謝の気持ちで一杯です。

高戸ひな子

いつの間にか親よりも背丈が伸び、言葉も生意気になって一人で大きくなった様な顔をしているけれど、どれだけの人のお陰で大きくなる事ができたかというのを忘れてはならないと思います。小学六年間教わった色々なことを土台として、心身共に健康な中学生になる様願っています。

六年間、つらかったことや、楽しかったことなどいろいろ思い出を胸に、中学へ入学しても、その思い出は、いつまでも私の心の中に残しておきたいと思えます。でもこれからは、いろいろな事があると思えますが、その苦しみを乗り越え、勉強にスポーツにがんばりたいと思っています。

高政 光子

肌寒い春、新しいセーラ服にランドセルを背に重く、校門をくぐった思い出もついでこの間のように思えます。幼い子供達がいつの間にか成長して、改めてこの六年間の学業の尊さ、校長先生はじめ、受け持ちの諸先生方の御訓育のありがたさが胸にしみる思いがいたします。これから中学生になっても、この学び舎で受けた諸先生の尊いお教えをいつまでも忘れず、それを力として、自分自身の道へ勇氣を持って、突き進んでいってほしいと願うばかりです。

竜田 省一

最後にになりましたが、校長先生はじめ諸先生方、PTA役員さん大変お世話になりました。ありがとうございます。

長いようで短かった六年間。学校では、放課後、休み時間などにしぼられたこと。でももうこの小学校とはお別れです。いやこの校舎もこわされてしまうのです。この古い校舎ではいろいろなことを学んできました。

中田二三子

この六年間「行って来ます。ただ今。」と入学し、幼いと思っていた子供が早六年間の小学課程を修了する。本当に、年月の経過の早さに改めて驚いている次第です。長い間、諸先生方には大変な御世話をいただきました。私にも三人目の子供を、無事卒業させていただきました。私にも三人目の子供を、無事卒業させていただきました。私にも三人目の子供を、無事卒業させていただきました。私にも三人目の子供を、無事卒業させていただきました。





中道 和也



吉江 雅樹



蓬田 陽一

ぼくもいよいよ中学生です。六年間を振り返ってみると楽しかった遠足や秋の運動会などを思い出します。昨年の運動会には両親の応援に力づけられて選手宣誓を声高々に言いました。今もその時のことが思い出されます。

中道三重子

本当に月日の経つのは早いもので、あっという間に六年間の小学校生活も終わろうとしています。これもひとえに諸先生方や先輩のお蔭だと感謝に絶えません。この六年間を振り返って見ると楽しかったこと、苦しかったこと、子供達に忘れてしまったこと、思い出が数多くあるのではないのでしょうか。その一つ一つを大切に、中学校へ進まれても新郷小学校の生徒として恥のないりっぱな生徒になって勉強や運動に励んでいただきたいという心から願っています。

もう六年生も終わり、やがて中学生になる。六年生のときに増永先生にはとてもしぼられたので中学生の基礎になると思う。計算二十問ずつ、六年生のはじめごろからやらされ漢字テストは、合格するまでやらされた。とてもためになったと思う。中学生になったらより一層がんばりたい。

吉江 明子

長いようで短かった六年間、入学当時は小つぶだった我が子も、いまでは体だけはりっぱな大人。小さい頃から泣き虫だけえず先生方に、ご迷惑ばかりかけていた我が子です。給食の時間は好き、運動会は、いや、とだだをこねた低学年の頃、その子が今年から中学生、小学校で習った事を基礎にして、中学へ入学しても頑張っていってほしいと思います。

ぼくは、一年生の夏に引越してきた。入ってきた当時からつい最近までは、泣いてばかりいたけれど、今は、仲良く遊んだりしている。先生に、漢字ドリルは合格点を取るまで何度もやらされました。しかし、もう中学生になってしまふ。これまでの苦勞を中学生になってから生かしていこうと思う。

蓬田 満治

早いものです!! 私達が宮前へ引越してから、もう六年になります。陽一が一年の夏休みに加戸小学校より新郷小学校へ転入させて頂きました。十人少々の人に古い校舎と聞き、宮前から加戸小学校へ通いたいと言っていた時期もありました。でも今では皆んなと友達になり加戸小学校の事は口にもせず、一日一日を楽しく過ごしている様子です。これも増永先生をはじめ、諸先生方のおかげと深く感謝致しております。

担任から 真剣に誠意と愛情をもって

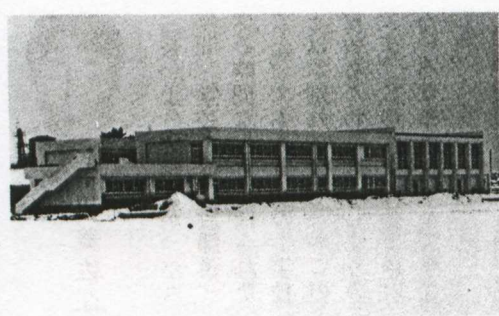
増永信太郎

「私がやりましょう。」  
私が日頃一番大事にしている言葉です。君達が今日まで育った地域社会、これから歩き続けて行く新しい社会、常に変化し続けるさまざまな社会、今人々はみなそんな社会で力一ぱい生活しています。生活する形、生活する社会は違っても、人間が住む以上苦しみやいやなことはつきものです。これからの社会生活の中で、どんないやなことや苦しい仕事におつかっても、勇気と誠意をもって、「私ができるでしょう。」の心がまえで進んで、実践する人になっただきたい。かならず、すばらしい美しい心の人間

- 住所  
◎ 三國町緑ヶ丘一―五―一八  
◎ 一・二年担任 市野弘子先生  
◎ 三年担任 坂上鶴代先生  
◎ 四年担任 福井市浜別所町四の四七

母校

母校……  
それは、偉大なもの、そして温かいものである。  
この新郷小学校を母校と呼び始めてもうはや、四年が過ぎようとしている。そして今、その母校が新しく生まれかわろうとしているのである。  
私は旧校舎、いや母校とすごした六年の間、たくさの思い出を築き、夢を育



てできた。走り、とび、泣いて、笑って……そして学んできた母校。その一つ一つが思い出となって私の心の中のひきだしにいっぱいつめこまれていくのだ。  
その思い出の後ろには、いつも大きな「学校」があった。そして、その「学校」は、温かいものであり、厳しいものであったような気がする。  
古くて小さな学校だったけど、それだけにたくさん「人」と歴史を知っていると、歴史のごくわずかな時の流れの中で、学び、育った。新郷小学校の新たな旅立ち。この新校舎、今度はどんな子供達を育てていくとだろう。私の小さな後輩のみなさん、このすばらしい「学校」で、いっしょにけんめい学び、そしてりっぱに羽ばたいて下さい。  
Y・K 記